

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用等级がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル・ボンド・ ニューマーケット （毎月決算型）

愛称：星こよみ



第136期（決算日：2018年2月26日）
 第137期（決算日：2018年3月26日）
 第138期（決算日：2018年4月24日）
 第139期（決算日：2018年5月24日）
 第140期（決算日：2018年6月25日）
 第141期（決算日：2018年7月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る7月24日に第141期の決算を行いましたので、法令に基づいて第136期～第141期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	債 先 物 比	券 率 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
112期(2016年2月24日)	4,398		30	△1.4	97.0	—	—	9,438	
113期(2016年3月24日)	4,487		30	2.7	96.7	—	—	9,515	
114期(2016年4月25日)	4,602		30	3.2	96.8	—	—	9,611	
115期(2016年5月24日)	4,211		30	△7.8	96.5	—	—	8,726	
116期(2016年6月24日)	3,978		30	△4.8	96.8	—	—	8,124	
117期(2016年7月25日)	4,299		30	8.8	97.3	—	—	8,700	
118期(2016年8月24日)	4,133		20	△3.4	97.0	—	—	8,247	
119期(2016年9月26日)	4,036		20	△1.9	97.2	—	—	7,927	
120期(2016年10月24日)	4,161		20	3.6	96.9	—	—	8,005	
121期(2016年11月24日)	4,096		20	△1.1	97.0	—	—	7,718	
122期(2016年12月26日)	4,278		20	4.9	93.6	—	—	7,890	
123期(2017年1月24日)	4,167		20	△2.1	96.2	—	—	7,558	
124期(2017年2月24日)	4,355		20	5.0	96.0	—	—	7,700	
125期(2017年3月24日)	4,429		20	2.2	96.4	—	—	7,665	
126期(2017年4月24日)	4,317		20	△2.1	95.9	—	—	7,341	
127期(2017年5月24日)	4,416		20	2.8	96.0	—	—	7,406	
128期(2017年6月26日)	4,508		20	2.5	96.5	—	—	7,452	
129期(2017年7月24日)	4,494		20	0.1	95.9	—	—	7,382	
130期(2017年8月24日)	4,407		20	△1.5	95.6	—	—	7,172	
131期(2017年9月25日)	4,569		20	4.1	95.2	—	—	7,315	
132期(2017年10月24日)	4,378		20	△3.7	96.1	—	—	6,894	
133期(2017年11月24日)	4,307		20	△1.2	96.2	—	—	6,691	
134期(2017年12月25日)	4,452		20	3.8	94.4	—	—	6,810	
135期(2018年1月24日)	4,578		20	3.3	95.8	—	—	6,950	
136期(2018年2月26日)	4,537		20	△0.5	94.7	—	—	6,790	
137期(2018年3月26日)	4,462		20	△1.2	95.2	—	—	6,629	
138期(2018年4月24日)	4,483		20	0.9	96.3	—	—	6,603	
139期(2018年5月24日)	4,371		20	△2.1	95.9	—	—	6,373	
140期(2018年6月25日)	4,219		20	△3.0	95.7	—	—	6,069	
141期(2018年7月24日)	4,339		20	3.3	95.6	—	—	6,186	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第136期	(期 首) 2018年 1月24日	円 4,578		% —	% 95.8		% —
	1月末	4,502		△1.7	91.5		—
	(期 末) 2018年 2月26日	4,557		△0.5	94.7		—
第137期	(期 首) 2018年 2月26日	4,537		—	94.7		—
	2月末	4,501		△0.8	94.6		—
	(期 末) 2018年 3月26日	4,482		△1.2	95.2		—
第138期	(期 首) 2018年 3月26日	4,462		—	95.2		—
	3月末	4,560		2.2	95.4		—
	(期 末) 2018年 4月24日	4,503		0.9	96.3		—
第139期	(期 首) 2018年 4月24日	4,483		—	96.3		—
	4月末	4,498		0.3	96.2		—
	(期 末) 2018年 5月24日	4,391		△2.1	95.9		—
第140期	(期 首) 2018年 5月24日	4,371		—	95.9		—
	5月末	4,317		△1.2	94.7		—
	(期 末) 2018年 6月25日	4,239		△3.0	95.7		—
第141期	(期 首) 2018年 6月25日	4,219		—	95.7		—
	6月末	4,237		0.4	95.8		—
	(期 末) 2018年 7月24日	4,359		3.3	95.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

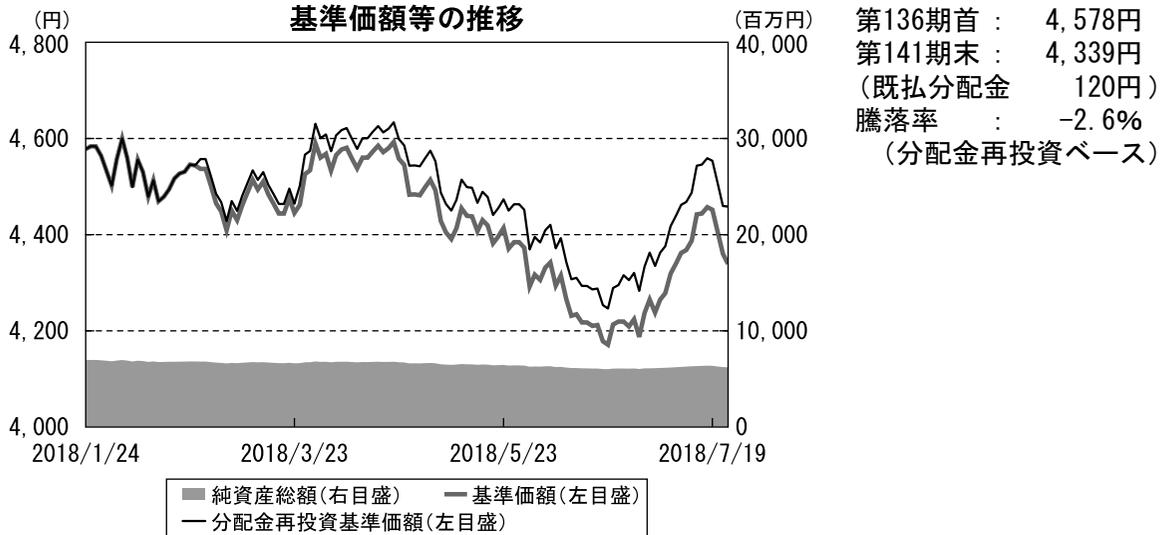
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第136期～第141期：2018/1/25～2018/7/24）

基準価額の動き 基準価額は当作成期首に比べ2.6%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



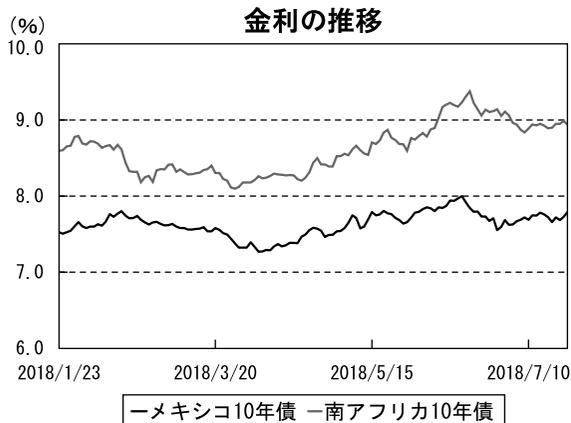
実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

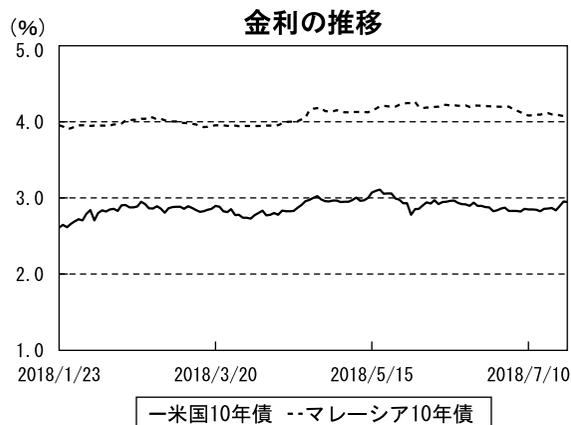
上昇要因	債券の利子収益を享受したことなどが、上昇要因となりました。
下落要因	南アフリカランド・マレーシアリングット・メキシコペソが対円で下落したこと、南アフリカ・メキシコなどの金利が上昇したことなどが、下落要因となりました。

投資環境について

（第136期～第141期：2018/1/25～2018/7/24）



（注）現地日付ベースで記載しております。

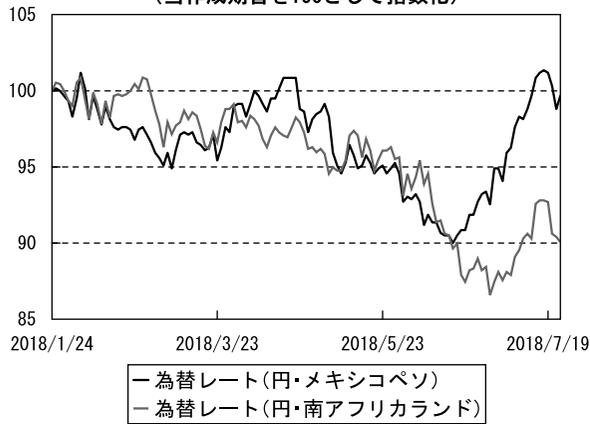


（注）現地日付ベースで記載しております。

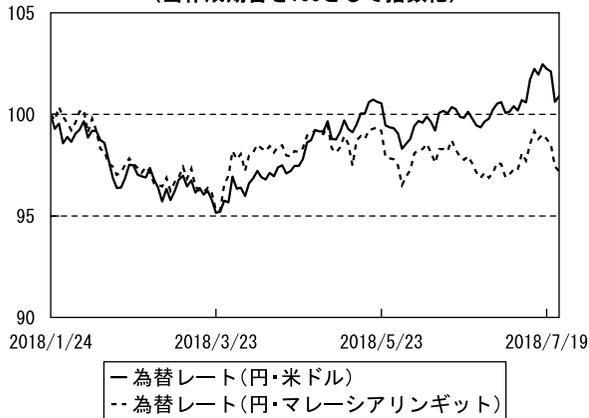
◎債券市況

- ・米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの長期金利は上昇しました。
- ・当作成期首から2018年3月にかけて、米国では、2017年12月に成立した税制改正による成長上振れ観測に加え、発表された物価関連指標が概ね堅調に推移し、追加利上げ観測が高まったこと等を背景に、長期金利は上昇しました。一方、南アフリカでは、2017年12月にラマポーザ氏が与党・アフリカ民族会議（ANC）党首に選出されて以降、反汚職や経済改革への期待が高まったこと等を背景に、長期金利は低下基調で推移しました。メキシコでは、発表された消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことなどが、長期金利の低下要因となりました。また、マレーシアでは、上記米国の追加利上げ観測等を背景に、長期金利は上昇する局面もありましたが、米トランプ政権による保護主義的な通商政策への懸念の高まり等が長期金利の低下要因となり、長期金利は概ねもみあい推移しました。
- ・その後、当作成期末にかけては、米国では、発表された景気および物価関連指標が概ね堅調に推移したことや原油価格上昇などを背景に市場のインフレ期待が高まり、追加利上げ観測が高まったことなどが、長期金利の上昇要因となりました。また、南アフリカ・メキシコ・マレーシアでは、米国の長期金利上昇等を背景に、新興国からの資金流出懸念が高まったことなどが、長期金利の上昇要因となりました。
- ・結果、当作成期を通じてみると、投資国の長期金利は上昇して終えました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米ドルは対円で上昇した一方、南アフリカランド・メキシコペソ・マレーシアリングギットは対円で下落しました。
- ・当作成期首から2018年3月にかけて、グローバルな資産市場の変動性の高まりを受けて投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、投資国通貨は対円で下落しました。
- ・4月以降は、米ドルは、米国金利上昇による日米金利差拡大などから上昇基調で推移し、当作成期を通じてみると、対円で上昇しました。
- ・一方、南アフリカランドは、米国の追加利上げ観測が高まるなか、一部の新興国に対する投資家のリスクセンチメントが悪化したことや、南アフリカ景気の下振れ懸念が高まったことなどが対円での下落要因となり、当作成期を通じてみると、南アフリカランドは対円で下落して終わりました。また、メキシコペソは、6月にかけては、北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉を巡る懸念や、2018年7月に実施された大統領選挙に向けた政治的な不透明感の継続等を背景に、対円で下落しました。その後、7月の大統領選挙で、新興左派政党（MORENA）の候補、ロペスオブラドル氏が勝利し、対米関係改善への期待感等から対円で上昇に転じたものの、当作成期を通じてみると、対円で下落して終わりました。マレーシアリングギットは、本邦との金利差拡大から対円で上昇する局面もあったものの、概ねもみあい推移し、当作成期を通じてみると、対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

・グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ2.0%の下落となりました。

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国は、作成期を通じて、米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの4カ国で運用しました。
- ・債券の利子収益を享受したことなどがプラスに寄与したものの、南アフリカランド・マレーシアリングギット・メキシコペソが対円で下落したこと、南アフリカ・メキシコなどの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したことから、基準価額は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2018年1月24日）

最終利回り	6.2%
直接利回り	6.1%
デュレーション	6.1年

作成期末（2018年7月24日）

最終利回り	6.2%
直接利回り	6.1%
デュレーション	5.5年



- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2018年1月24日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	7.9%	5
AA格	0.0%	0
A格	58.7%	13
BBB格	29.5%	5
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

作成期末（2018年7月24日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	10.8%	5
AA格	0.0%	0
A格	58.3%	14
BBB格	26.6%	5
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格（AAA、Aaa）
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
	2018年1月25日～ 2018年2月26日	2018年2月27日～ 2018年3月26日	2018年3月27日～ 2018年4月24日	2018年4月25日～ 2018年5月24日	2018年5月25日～ 2018年6月25日	2018年6月26日～ 2018年7月24日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.439%	0.446%	0.444%	0.455%	0.472%	0.459%
当期の収益	19	17	19	18	18	20
当期の収益以外	0	2	0	1	1	—
翌期繰越分配対象額	154	152	152	150	148	149

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・アッパーミドル諸国においては、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景とした個人消費の堅調な伸びを背景に、概ね底堅い経済成長を維持するものと考えています。
- ・米国では金融政策正常化に向けた動きが想定されるものの、主要先進国の金利は低位で推移しており、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いアッパーミドル諸国への金利差を狙った資金流入が、今後も見込めると考えます。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念や地政学リスクの高まりなどの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○ 1万口当たりの費用明細

(2018年1月25日～2018年7月24日)

項 目	第136期～第141期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(13)	(0.294)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.267)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.016	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	27	0.604	
作成期中の平均基準価額は、4,435円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年1月25日～2018年7月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第136期～第141期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 4,864	千円 5,984	千口 511,330	千円 626,872

○利害関係人との取引状況等

（2018年1月25日～2018年7月24日）

利害関係人との取引状況

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

区 分	第136期～第141期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 284	百万円 —	% —	百万円 898	百万円 110	% 12.2

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

（2018年7月24日現在）

親投資信託残高

銘 柄	第135期末	第141期末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 5,544,355	千口 5,037,889	千円 6,171,918

○投資信託財産の構成

（2018年7月24日現在）

項 目	第141期末	
	評 価 額	比 率
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千円 6,171,918	% 99.2
コール・ローン等、その他	51,267	0.8
投資信託財産総額	6,223,185	100.0

(注) グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（6,139,742千円）の投資信託財産総額（6,202,660千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.27円	1 メキシコペソ=5.88円	1 マレーシアリングgit=27.35円	1 南アフリカランド=8.26円
------------------	----------------	----------------------	------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第136期末	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末
	2018年2月26日現在	2018年3月26日現在	2018年4月24日現在	2018年5月24日現在	2018年6月25日現在	2018年7月24日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	6,829,874,261	6,678,715,486	6,646,137,489	6,421,364,718	6,105,380,530	6,223,185,347
コール・ローン等	22,980,119	21,128,861	21,948,747	21,447,962	20,321,276	20,543,951
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	6,774,431,813	6,613,205,864	6,587,878,690	6,358,442,631	6,054,983,516	6,171,918,519
未収入金	32,462,329	44,380,761	36,310,052	41,474,125	30,075,738	30,722,877
(B) 負債	39,388,764	49,700,944	42,383,201	47,372,702	36,107,638	36,442,307
未払収益分配金	29,932,182	29,711,396	29,463,790	29,167,193	28,769,574	28,517,935
未払解約金	2,079,052	13,884,985	6,526,077	11,794,925	861,900	2,041,909
未払信託報酬	7,349,445	6,081,317	6,368,982	6,386,170	6,451,499	5,860,060
未払利息	33	36	43	39	43	39
その他未払費用	28,052	23,210	24,309	24,375	24,622	22,364
(C) 純資産総額(A-B)	6,790,485,497	6,629,014,542	6,603,754,288	6,373,992,016	6,069,272,892	6,186,743,040
元本	14,966,091,246	14,855,698,060	14,731,895,051	14,583,596,512	14,384,787,294	14,258,967,652
次期繰越損益金	△ 8,175,605,749	△ 8,226,683,518	△ 8,128,140,763	△ 8,209,604,496	△ 8,315,514,402	△ 8,072,224,612
(D) 受益権総口数	14,966,091,246口	14,855,698,060口	14,731,895,051口	14,583,596,512口	14,384,787,294口	14,258,967,652口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,537円	4,462円	4,483円	4,371円	4,219円	4,339円

○損益の状況

項 目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
	2018年1月25日～ 2018年2月26日	2018年2月27日～ 2018年3月26日	2018年3月27日～ 2018年4月24日	2018年4月25日～ 2018年5月24日	2018年5月25日～ 2018年6月25日	2018年6月26日～ 2018年7月24日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 866	△ 929	△ 992	△ 990	△ 1,174	△ 1,004
受取利息	—	—	30	—	—	—
支払利息	△ 866	△ 929	△ 1,022	△ 990	△ 1,174	△ 1,004
(B) 有価証券売買損益	△ 23,028,484	△ 75,566,616	65,841,971	△ 127,704,838	△ 182,580,744	204,954,647
売買益	1,367,727	839,048	66,966,991	882,650	1,764,441	206,473,458
売買損	△ 24,396,211	△ 76,405,664	△ 1,125,020	△ 128,587,488	△ 184,345,185	△ 1,518,811
(C) 信託報酬等	△ 7,377,497	△ 6,104,527	△ 6,393,291	△ 6,410,545	△ 6,476,121	△ 5,882,424
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 30,406,847	△ 81,672,072	59,447,688	△ 134,116,373	△ 189,058,039	199,071,219
(E) 前期繰越損益金	△5,790,442,881	△5,803,124,626	△5,860,567,211	△5,767,121,370	△5,844,737,144	△6,004,367,412
(F) 追加信託差損益金	△2,324,823,839	△2,312,175,424	△2,297,557,450	△2,279,199,560	△2,252,949,645	△2,238,410,484
(配当等相当額)	(179,895,085)	(178,616,139)	(177,166,995)	(175,425,480)	(173,072,899)	(171,599,797)
(売買損益相当額)	(△2,504,718,924)	(△2,490,791,563)	(△2,474,724,445)	(△2,454,625,040)	(△2,426,022,544)	(△2,410,010,281)
(G) 計 (D + E + F)	△8,145,673,567	△8,196,972,122	△8,098,676,973	△8,180,437,303	△8,286,744,828	△8,043,706,677
(H) 収益分配金	△ 29,932,182	△ 29,711,396	△ 29,463,790	△ 29,167,193	△ 28,769,574	△ 28,517,935
次期繰越損益金 (G + H)	△8,175,605,749	△8,226,683,518	△8,128,140,763	△8,209,604,496	△8,315,514,402	△8,072,224,612
追加信託差損益金	△2,324,823,839	△2,312,175,424	△2,297,557,450	△2,279,199,560	△2,252,949,645	△2,238,410,484
(配当等相当額)	(179,903,130)	(178,618,168)	(177,170,543)	(175,429,001)	(173,078,937)	(171,603,637)
(売買損益相当額)	(△2,504,726,969)	(△2,490,793,592)	(△2,474,727,993)	(△2,454,628,561)	(△2,426,028,582)	(△2,410,014,121)
分配準備積立金	52,064,623	47,559,670	46,981,353	43,562,305	40,740,494	41,116,376
繰越損益金	△5,902,846,533	△5,962,067,764	△5,877,564,666	△5,973,967,241	△6,103,305,251	△5,874,930,504

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 15,182,931,763円
 作成期中追加設定元本額 72,668,798円
 作成期中一部解約元本額 996,632,909円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4339円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,072,224,612円です。

③分配金の計算過程

項 目	2018年1月25日～ 2018年2月26日	2018年2月27日～ 2018年3月26日	2018年3月27日～ 2018年4月24日	2018年4月25日～ 2018年5月24日	2018年5月25日～ 2018年6月25日	2018年6月26日～ 2018年7月24日
費用控除後の配当等収益額	29,905,800円	25,630,534円	29,319,222円	26,259,505円	26,577,042円	29,284,902円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	179,903,130円	178,618,168円	177,170,543円	175,429,001円	173,078,937円	171,603,637円
分配準備積立金額	52,091,005円	51,640,532円	47,125,921円	46,469,993円	42,933,026円	40,349,409円
当ファンドの分配対象収益額	261,899,935円	255,889,234円	253,615,686円	248,158,499円	242,589,005円	241,237,948円
1万口当たり収益分配対象額	174円	172円	172円	170円	168円	169円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	20円	20円
収益分配金金額	29,932,182円	29,711,396円	29,463,790円	29,167,193円	28,769,574円	28,517,935円

○分配金のお知らせ

	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

《第12期》決算日2018年7月24日

[計算期間：2017年7月25日～2018年7月24日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月24日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	外国の債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
	円	%	%	%	百万円
8期(2014年7月24日)	13,057	5.7	97.3	—	19,168
9期(2015年7月24日)	13,211	1.2	97.5	—	13,920
10期(2016年7月25日)	10,612	△19.7	97.5	—	8,680
11期(2017年7月24日)	11,878	11.9	96.1	—	7,365
12期(2018年7月24日)	12,251	3.1	95.8	—	6,171

(注) 当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2017年7月24日	円 11,878	% —	% 96.1	% —
7月末	11,770	△0.9	95.8	—
8月末	11,880	0.0	94.8	—
9月末	11,981	0.9	95.5	—
10月末	11,552	△2.7	94.9	—
11月末	11,810	△0.6	96.5	—
12月末	12,227	2.9	96.0	—
2018年1月末	12,302	3.6	91.7	—
2月末	12,364	4.1	94.9	—
3月末	12,596	6.0	95.7	—
4月末	12,491	5.2	96.5	—
5月末	12,054	1.5	95.0	—
6月末	11,899	0.2	96.0	—
(期 末) 2018年7月24日	12,251	3.1	95.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・米国、南アフリカ、メキシコ、マレーシアの長期金利は上昇しました。
- ・期首から2017年11月にかけて、米国、マレーシアの長期金利は概ねもみあい推移した一方、南アフリカでは、政局の不透明感や財政収支見通しの悪化などから格下げリスクが高まったこと、また、メキシコでは通貨安の進行によるインフレ懸念が高まったことなどから、南アフリカ、メキシコの長期金利は上昇しました。
- ・その後、2018年3月にかけては、メキシコ、マレーシアの長期金利は概ねもみあい推移した一方、米国では、2017年12月に成立した税制改正による成長上振れ観測等を背景に、長期金利は上昇しました。また、南アフリカでは、12月にラマポーザ氏が与党・アフリカ民族会議(ANC)党首に選出されて以降、反汚職や経済

改革への期待が高まったこと等を背景に、長期金利は低下しました。

- ・ 期末にかけては、米国では、発表された景気および物価関連指標が概ね堅調に推移したことや原油価格上昇などを背景に市場のインフレ期待が高まり、追加利上げ観測が高まったことなどが、長期金利の上昇要因となりました。また、南アフリカ、メキシコ、マレーシアでは、米国の長期金利上昇等を背景に、新興国からの資金流出懸念が高まったことなどが、長期金利の上昇要因となりました。
- ・ 結果、期を通じてみると、投資国の長期金利は上昇して終わりました。

◎為替市況

- ・ 米ドル、マレーシアリングgitは対円で上昇した一方、南アフリカランド、メキシコペソは対円で下落しました。
- ・ 米ドルは、2018年1月にかけては概ねもみあいでも推移していましたが、2月に、グローバルな資産市場の変動性の高まりを受けて投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから対円で下落しました。その後は、米国金利上昇による日米の金利差拡大などが対円での上昇要因となり、期を通じてみると、米ドルは対円で上昇しました。また、マレーシアリングgitは、2017年12月にかけて、同国の堅調な景気動向等を背景に利上げ観測が高まり、また、2018年1月にマレーシア中央銀行が政策金利を引き上げたことなどが対円での上昇要因となり、期を通じてみると対円で上昇して終わりました。
- ・ 一方、南アフリカランドは、2017年11月にかけては、格下げ懸念等を背景に対円で下落しましたが、12月にラムポーザ氏がANC党首に選出され、改革期待が高まったことなどから対円で上昇に転じました。その後、米国の追加利上げ観測が高まるなか、一部の新興国に対する投資家のリスクセンチメントが悪化したことや、南アフリカ景気の下振れ懸念が高まったことなどが対円での下落要因となり、期を通じてみると、

南アフリカランドは対円で下落して終わりました。また、メキシコペソは、北米自由貿易協定(NAFTA)再交渉を巡る懸念や、2018年7月に実施された大統領選挙に向けた政治的な不透明感が継続したことなどから対円で下落基調で推移し、期を通じてみると対円で下落して終わりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA〜A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・ 投資国は、期を通じて、米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの4カ国で運用しました。
- ・ メキシコ、米国などの金利が上昇したことや、メキシコペソ、南アフリカランドが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、債券の利子収益を享受したことや、マレーシアリングgitや米ドルが対円で上昇したことなどがプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ アッパーミドル諸国においては、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景とした個人消費の堅調な伸びを背景に、概ね底堅い経済成長を維持するものと考えています。
- ・ 米国では金融政策正常化に向けた動きが想定されるものの、主要先進国の金利は低位で推移しており、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いアッパーミドル諸国への金利差を狙った資金流入が、今後も見込めると考えます。
- ・ ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念や地政学リスクの高まりなどの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから不安定な動きに転じる可能性が

る点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・ アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・ アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規

模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。

- ・ アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月25日～2018年7月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	3	0.026	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(3)	(0.026)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、12,077円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年7月25日～2018年7月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 2,829	千アメリカドル 1,960
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 418,042	千メキシコペソ 441,630
国	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 28,150	千マレーシアリングgit 46,412
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 194,019	千南アフリカランド 241,827

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月25日～2018年7月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	484	122	25.2	1,833	343	18.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年7月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 5,900	千アメリカドル 6,007	千円 668,496	% 10.8	% —	% 4.4	% 1.9	% 4.5
メキシコ	千メキシコペソ 309,500	千メキシコペソ 307,162	1,806,117	29.3	—	18.6	2.3	8.4
マレーシア	千マレーシアリンギット 65,700	千マレーシアリンギット 65,621	1,794,739	29.1	—	12.4	10.1	6.5
南アフリカ	千南アフリカランド 241,500	千南アフリカランド 198,997	1,643,718	26.6	—	22.1	2.0	2.5
合 計	—	—	5,913,071	95.8	—	57.5	16.3	22.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末					償還年月日
	利率	額面金額	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
国債証券	1.75 T-NOTE 220515	1.75	1,100	1,058	117,826	2022/5/15
	2.25 T-NOTE 270815	2.25	700	660	73,483	2027/8/15
	3 T-BOND 420515	3.0	700	689	76,751	2042/5/15
	3.125 T-NOTE 190515	3.125	2,500	2,515	279,880	2019/5/15
	4.5 T-BOND 360215	4.5	900	1,083	120,554	2036/2/15
小計					668,496	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
国債証券	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	23,000	20,455	120,278	2026/3/5
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	25,000	23,999	141,115	2022/6/9
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	23,000	22,706	133,514	2027/6/3
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	13,000	12,967	76,251	2031/5/29
	7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	64,000	63,221	371,743	2042/11/13
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	32,500	32,695	192,252	2020/6/11
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	56,000	56,831	334,169	2023/12/7
	8.5 MEXICAN BONOS 181213	8.5	55,000	55,102	324,001	2018/12/13
	8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	18,000	19,182	112,790	2038/11/18
小計					1,806,117	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
国債証券	3.654 MALAYSIAGOV 191031	3.654	14,700	14,739	403,136	2019/10/31
	3.899 MALAYSIAGOV 271116	3.899	13,500	13,203	361,104	2027/11/16
	3.955 MALAYSIAGOV 250915	3.955	10,000	9,886	270,402	2025/9/15
	4.048 MALAYSIA 210930	4.048	22,500	22,786	623,214	2021/9/30
	4.498 MALAYSIAGOV 300415	4.498	5,000	5,004	136,881	2030/4/15
小計					1,794,739	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	10.5	43,000	47,282	390,555	2026/12/21
	6.25 SOUTH AFRICA 360331	6.25	41,000	29,794	246,100	2036/3/31
	6.5 SOUTH AFRICA 410228	6.5	123,000	87,723	724,596	2041/2/28
	7.25 SOUTH AFRICA 200115	7.25	19,000	18,956	156,579	2020/1/15
	7.75 SOUTH AFRICA 230228	7.75	15,500	15,240	125,885	2023/2/28
小計					1,643,718	
合計					5,913,071	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2018年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,913,071	% 95.3
コール・ローン等、その他	289,589	4.7
投資信託財産総額	6,202,660	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (6,139,742千円) の投資信託財産総額 (6,202,660千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.27円	1 メキシコペソ=5.88円	1 マレーシアリングギット=27.35円	1 南アフリカランド=8.26円
------------------	----------------	----------------------	------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月24日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,202,660,043 円
コール・ローン等	206,712,122
公社債(評価額)	5,913,071,701
未収利息	80,304,777
前払費用	2,571,443
(B) 負債	30,722,997
未払解約金	30,722,877
未払利息	120
(C) 純資産総額(A-B)	6,171,937,046
元本	5,037,889,576
次期繰越損益金	1,134,047,470
(D) 受益権総口数	5,037,889,576口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,251円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,200,664,893円
 期中追加設定元本額 38,850,830円
 期中一部解約元本額 1,201,626,147円
 また、1口当たり純資産額は、期末12,251円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 5,037,889,576円

【お知らせ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
 (変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
 (2018年1月1日)

○損益の状況 (2017年7月25日~2018年7月24日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	412,467,922 円
受取利息	412,500,499
支払利息	△ 32,577
(B) 有価証券売買損益	△ 201,959,620
売買益	183,429,884
売買損	△ 385,389,504
(C) 保管費用等	△ 1,792,478
(D) 当期損益金(A+B+C)	208,715,824
(E) 前期繰越損益金	1,164,583,002
(F) 追加信託差損益金	7,504,075
(G) 解約差損益金	△ 246,755,431
(H) 計(D+E+F+G)	1,134,047,470
次期繰越損益金(H)	1,134,047,470

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。